

テントラちゃん活躍中！

平成28年9月の高津区敬老会でおたっしや10のトライマスコット「テントラちゃん」が登場し、ヘルスパートナーの方々とテントラ体操を披露しました。また、桜井純恵さんによる歌「テントラちゃんは行く」も、ご本人出演のもと披露され、会場は盛り上がりました。



高津区敬老会にて



いこいの家にて



バルたかつの展示コーナー

健康で長生き、楽しい地域づくりのために、テントラちゃんはこれからも様々な催物に参加していきます。

お寄せいただいたお気持ちに感謝し、大切に活用させていただきます。

賛助会費

平成29年1月15日現在

高津第一	1,190,000
高津第二	1,699,000
高津第三	1,092,000
橘	1,586,000
その他	4,000
合計	5,571,000

社会福祉協議会の事業や活動に賛同していただいた方に会員になっていただき、財政的に支えていただくものです。主に高津区内の4つの地区社会福祉協議会に配分され、それぞれの事業推進に使われます。

共同募金

平成29年1月15日現在

戸別	11,170,788
街頭・イベント	568,617
法人	399,000
校内	384,596
職域・その他	783,837
合計	13,306,838

10月1日から12月31日までを主な募金期間として行っています。ご協力いただいた募金は、神奈川県内の社会福祉事業等の支援のために使われるほか、高津区社会福祉協議会の子育て支援事業、移送サービス事業などに配分されます。

年末たすけあい

平成29年1月15日現在

戸別	8,969,907
街頭	108,469
職域・その他	56,488
合計	9,134,864

12月1日から12月31日までを主な募金期間として行っています。ご協力いただいた募金は、年末たすけあい見舞金やボランティア団体への配分等高津区内の福祉活動の推進のために使われます。

編集委員

横山 滋 神田 幸一 小黒 久男 成田 まゆみ 川辺 清三 (順不同)

この広報紙は共同募金の配分金で作成されています。

高津区の福祉

おあしす

希望の泉

第44号

平成29年3月1日



(社会福祉協議会の会章)

発行 社会福祉法人 川崎市高津区社会福祉協議会
川崎市高津区溝口1-6-10てくのかわさき3階福祉バルたかつ内
TEL 044-812-5500 FAX 044-812-3549
http://www.kawasaki-shakyo.jp/takatsu/
E-MAIL: info@takatsukushakyo.com

発行人 斉藤 二郎
編集人 おあしす編集委員会

町会長から見た 高津区社会福祉協議会



久地第1町内会 会長 瀧村 治雄

私は現在、久地第1町内会とともに高津区連合町内会の会長を務めておりますが、時折自問することは、町内会・自治会の使命とは何かということです。

昨今、様々な場面で人間関係の希薄化が指摘される時代ですが、大規模災害など一朝有事の際に備えるためにも日頃からご近所における「顔の見える関係づくり」を進めるこそが町内会・自治会の大きな使命ではないかと思えます。

各町内会・自治会、さらには高津区内（高津・橘両地区）で実施する盆踊りやお祭り、防災訓練などの行事を通して、住民同士が顔を覚え、親しくなり、次第に地域愛が育まれていくものであると、私は考えます。

近年少子高齢化が加速し、核家族や一人暮らしの老人の増加などにより様々な問題が発生していますが、災害時要援護者の避難支援など日頃から住民同士の絆があれば解決できる課題も少なくないのではないのでしょうか。

川崎市が推進する「地域包括ケアシステム」では自助・互助・共助・公助のバランスある取組が重要とされていますが、高津区社会福祉協議会が他に先駆けてスタートさせた「おたっしや10のトライ（自助）」はまさに時宜を得た取組だと敬意を表する次第です。

私たち一人ひとりの活動が結実することにより、「わが町高津」が誰もが誇りに思える街へ発展していくことを願ってやみません。

特集 地区社会福祉協議会の活動紹介

高津第一地区社会福祉協議会（溝口・久地・宇奈根）

170回を迎えた福寿草の会

健康寿命ってご存知ですか？日常的に介護を必要としないで生活できる生存期間のことで、平均寿命から健康寿命を引くと介護期間になります。日本は世界一の長寿国ですが、介護期間は女性で約12年、男性で約9年とのことです。

私たちは、65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、健康寿命を延ばし介護期間を短くすることを願って、美味しい昼食と楽しい会話の会食会・福寿草の会を行っています。「自分らしい人生を住み慣れた地域で最後まで過ごす」という地域包括ケアシステムのねらいに沿う事業です。昭和60年から始まったこの取組は、昨年7月、170回を迎えました。



敬老会と連携した「歩こう会」

福寿草の会は、年5回の会食会と春と秋に地域の敬老会や老人クラブに呼びかけて「歩こう会」を行っています。春は桜の緑が丘霊園に、秋は紅葉の東高根森林公園に出かけます。坂道が苦手の方も、スタッフの助けや自分のペースで歩くことができます。

春は4月初め、大山街道ふるさと館に集合し、ニヶ領用水沿いから津田山に。心地よい春風を感じながら約1時間の歩行で霊園公園に。満開の桜の木の下で車座になってお弁当と懇談のひと時。秋の東高根森林公園は、春よりちょっと長い約4キロの行程で、高低差は約50mほど。毎年、「歩こう会」に参加することを楽しみに、健康づくりに取り組んでいるという方も多くおられます。

地域の絆づくりを担って

福寿草の会の発足当時は、調理設備や会場確保に苦労され、地元企業の厨房設備や食堂、信用金庫の会場などをお借りしたりしたとのこと。この取組には、多くの先輩諸氏の想いが込められ、引き継がれてきました。私たちの地域福祉の取組は、町内会の日常的な活動の中で寄せられた相談や情報提供がベースです。地域に根差したネットワークで、一人暮らしの高齢者をはじめ生活上の困りごとを抱える人に寄り添い、一緒に考える身近な相談役を担い続けていきたいと思ひます。



高津第二地区社会福祉協議会

高津第二地区社会福祉協議会（以下社協という）の構成地区は、坂戸、久本、下作延、梶ヶ谷、上作延、向ヶ丘の6地域で構成されています。社協の活動は、子どもから高齢者まで住民の誰もが住み慣れた地域の中で、心豊かに安心して暮らせる地域づくりをめざし、住民一人ひとりの努力（自助）、住民同士の相互扶助（互助）、公的な制度など（共助・公助）の活用等のお手伝いをするための活動をしています。従って、社協は多方面の関係者により構成されています。即ち、民生委員・児童委員、主任児童委員、保護司、町内会・自治会、公私社会福祉施設関係者、ボランティア、学校関係者、行政機関代表者、学識経験者、その他社協の趣旨に賛同する者。ところで、社協には次の3部、「老人福祉部」・「青少年福祉部」・「企画部」があり、それぞれ活動の中心的な役割を果たしています。以下各部の主な活動をご紹介します。

1. 「合同お花見会」：

毎年4月に緑が丘霊園噴水広場で、高齢者の方、老人クラブ関係者及び民生委員、町内会・自治会関係者150名ほどによるお花見会を開催しています。満開の花の下で、お弁当を広げて和踊りで楽しいひと時を過ごします。（老人福祉部）

その他の主な活動：「ふれあい会食会」・「家庭での介護教室」・「上作延ミニデイ」・「高齢者に関する講座」など



2. 「親子芋ほり体験」：

毎年10月に関係者が、苗植えから真夏の草取り、つる返しと丹精込めて育てた「さつま芋」を抽選で選ばれた60名を超える家族と20名を超える関係者で収穫し、焼き芋にして食べる体験です。参加された家族、子どもさんと畑や野菜に関する学習をします。帰りには収穫したばかりの「さつま芋」をお土産に差し上げています。（青少年福祉部）

その他の主な活動：「夏休み親と子のお楽しみ会」・「県立養護学校イベント参加」・「障がい者とのクリスマス会」など



3. 機関誌「ふれあい」：

この機関誌は、高津第二地区社会福祉協議会の機関紙です。6地域には、各町内会・自治会の回覧等で配布をしております。社会福祉協議会の活動を皆さんに、より分かりやすく、見やすく伝えるために写真を多くし、カラー印刷により構成しています。記事は企画部員がそれぞれの活動現場に出向き、直接取材しています。（企画部）

その他の主な活動：「ふれあい歌声喫茶」・「宿泊研修会の企画」など

以上ご紹介した活動は代表的一例です。実際は各部とも多くの活動をしております。活動については、機関紙「ふれあい」に記載しておりますので是非ともご一読下さい。

